

第3次伊賀市総合計画の構成（案）

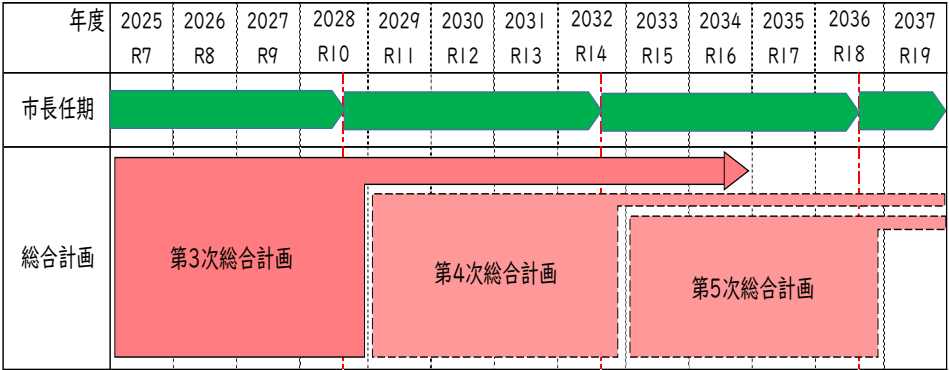
2025. 03. 08現在

新しい計画	
第1章 はじめに	
1. 伊賀市20年の振り返り	
2. 第2次伊賀市総合計画（第3次基本計画）の振り返り	
（1）分野別施策の振り返り	
（2）横断的取組の振り返り	
3. 社会経済情勢	
（1）人口・世帯数	
（2）就業人口	
（3）市内産業	
（4）市民所得	
（5）地価	
（6）市の財政状況	
4. みんなの声	
5. 今後に向けて	
第2章 構想	
1. 将来像	
2. 人口展望	
3. 計画のテーマ	
4. 計画の体系	
5. まちづくりの進め方	
（1）基本原則	
（2）PDCAサイクルによる進行管理	
第3章 分野別施策	
1. 安全を確保する	
2. 安心して暮らす	
3. ひとを育む	
4. にぎわいをつくる	
5. 計画の推進	
第4章 横断的な取り組み	
1. 豊かな人づくり「こどもが育つ、大人も育つ」	
2. 継承と変革「持続可能なまちを未来に引き継ぐ」	
3. これからの自治「つながりを結び直す」	

1. 計画期間

第2次総合計画は、計画期間を概ね10年間とする「基本構想」と市長任期にあわせた「基本計画」に分かれていましたが、大きな社会情勢の変化等にも的確に対応していくために、第3次総合計画では、これらをひとつにまとめます。

計画期間は、これまでの「基本計画」と同様、4年間とし、これまで総合計画（基本構想）で描いてきた10年後の姿も描きながら、そのために必要な具体的な取り組みを明らかにします。



【第3次総合計画】2025（令和7）年度から2028（令和10）年度まで

2. 体 系 ： 4つの分野

1. いのちを守る	
施策キーワード	めざす姿
1 防災・危機	・災害などの危機に強くなる
2 消防・救急	・火災や急病などで人命が失われない
3 医療	・身近なところで医療を受けることができる
4 環境	・豊かな自然環境を守り、次代へ引き継ぐ
5 廃棄物	・ごみ減量化やリサイクルが定着し、循環型社会が構築されている
6 上下水道	・安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る
7 交通安全・防犯	・事故や犯罪のないまちで安全に暮らせる

2. 暮らしを支える	
施策キーワード	めざす姿
1 共生社会	・助け合いや支えあいにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる
2 健康	・生涯を通じ、健やかに暮らすことができる
3 高齢者福祉	・高齢者が生きがいを持って暮らすことができる
4 障がい者福祉	・障がい者が、自分らしく暮らすことができる
5 都市政策	・適正な土地利用や移動しやすい道路ネットワークによりまちの魅力を高める
6 住環境	・だれもが安心な住環境で暮らせる
7 公共交通	・身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える

3. ひとを育む	
施策キーワード	めざす姿
1 こども	・こどもを安心して産み、育てることができる
2 人権・平和	・あらゆる差別が解消され、お互いの人権が尊重される
3 同和	・一人ひとりが部落差別と向き合い、差別が解消されている
4 学校教育	・子どもたちが、未来に夢や希望を持つことができる
5 教育環境	・子どもたちが、安心して学ぶことができる
6 生涯学習	・生涯を通じ、生きがいを持ち活躍することができる
7 住民自治・市民活動	・住民自治活動、市民活動やボランティア活動が活発に行われている
8 多文化共生	・国籍や文化の違いを認め共生する
9 定住・関係人口	・定住人口や関係人口を増やす

4. にぎわいをつくる	
施策キーワード	めざす姿
1 観光	・観光客と地域住民が共に地域の資源に魅力を感じ、大切にしている
2 農業	・自然と共存し、「人と人がつながる農業」を元気にする
3 林業	・森林や里山を大切にし、林業を元気にする
4 市街地	・市街地のにぎわいをつくる
5 商工業・産業立地	・地域の特性を活かし、商工業活動を盛んにする
6 就業・起業	・働きやすい環境を整える。起業・スタートアップの機運を高める。
7 文化・芸術	・豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ
8 歴史・文化遺産	・歴史や文化遺産を未来へと引き継ぐ
9 スポーツ	・気軽にスポーツを楽しむことができる
10 情報・魅力の発信	・まちの魅力が広く発信されている

5. 計画の推進	広聴広報、財政運営、組織・人事、広域連携、デジタル自治
----------	-----------------------------